

2024

## くらしフェスタ実行委員会から

Vol. 13

武蔵野市くらしフェスタ実行委員会では、毎年、市民の方に知っていただきたい情報を選び提供しています。新型コロナは夏と冬に流行がピークになることが定着し、第11波の流行を迎えています。4年間のコロナに対応した結果、免疫力の低下から他の様々な感染症も見られるようになっていきます。

今回は余り知られていない病気についても取り上げてみました。

1. 梅毒まだまだ拡大中！

2. 破傷風と狂犬病について

## 1. まだまだ拡大中！

昨年「昔の病気ではありません梅毒とはしか」で取り上げましたが、2023 年は都内過去最大の梅毒報告数となった 2022 年の 3677 件を上回る感染者数となっています。特に女性の報告数が増加していて、直近 10 年で約 40 倍となっています。

### ◎知っていますか？

梅毒はセックス（オーラルセックスを含む）等の行為により、粘膜や皮膚の傷から感染します。

### ◎梅毒を広げないために

梅毒の正しい知識を

梅毒は治療をしなければ、発疹やただれなどが出たり消えたりする間に、失明などの症状が進行してしまいます。また、症状がないこともあります。予防にはコンドームの正しい使用が有効ですが、100%感染を防ぐものではありません。妊娠中の感染は、お腹の赤ちゃんにも感染することがあります。

検査は匿名・無料

梅毒かもと思ったら、パートナーと一緒に早めに検査を受けましょう。梅毒検査は、HIV/エイズの検査と同時に都内の保健所・検査室で匿名・無料で受けられます。

早めの検査、早めの治療を！

多摩府中保健所「HIV・梅毒検査」のご案内

[https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/kansen/HIV\\_HTLV.html](https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/kansen/HIV_HTLV.html)

## 2. 破傷風と狂犬病について

### ◎破傷風

破傷風菌がつくる毒（トキシン）が神経筋接合部にくっつき、筋肉が収縮しっぱなしになる恐ろしい病気です。破傷風菌は土の中に普通に存在しますが、これが傷口などから入り込むと破傷風を発症します。また、動物に噛まれて発症することもあります。

予防接種の対象になってからは、ジフテリア・百日咳とともに「3種混合ワクチン」として実施されています。

破傷風は年間 100 例ほどの発症がありますが多くは高齢者で、1950 年代以前で

破傷風の予防接種を受けていなかったり、追加接種を受けていないことが原因と考えられています。破傷風は農作業時のケガや動物に噛まれ外傷がきっかけになり発症します。破傷風で筋肉が収縮しっぱなしになると、横隔膜も収縮、けいれんをおこして呼吸が出来なくなったりします。大人になっても10年ごとに破傷風ワクチンの追加接種をするのが望ましいのですが、実施されていないのが実情です。地震の被災地でも注意することが必要です。

◎狂犬病 現在も治療がなく、死亡率はほぼ100%

現在、日本では狂犬病は存在しません。しかし空前のペットブームで小型犬の室内飼育が増え、ペットに対する狂犬病ワクチンの接種率の低下が問題になっています。しかし海外では狂犬病の無い国の方が珍しく、農林水産省の動物検疫所によると、アイスランド、オーストリア、ニュージーランド、フィジー、ハワイとグアムだけです。過去にはイギリス、ノルウエー、スウェーデン、アイルランド、台湾が狂犬病フリーの国と認定されていましたが、その後感染が見つかり指定削除となりました。日本もその恐れが充分にあるのです。

ウクライナからの難民を受け入れる時に、ペットの狂犬病対策が議論になりましたが、農林水産省はペットへの狂犬病ワクチン提供などを条件に、ペットの受け入れを認めました。

狂犬病は犬から感染することが多いのですが、犬以外の動物からも感染します。アメリカではコウモリに噛まれて感染したり、猫、スカンク、アライグマ、キツネなどからも狂犬病は感染します。

長期に海外に滞在する人は、狂犬病のワクチンを接種することが望まれます。また外国にいて知らない犬などに触れるのも極めて危険です。

(岩田健太郎「ワクチンを学び直す」光文社新書を参考にしました)

## 2011年からの「くらしフェスタ実行委員会から」のテーマ一覧

2011

- ・食肉の汚染(ハンバーグ)・「ちょっと待って お肉の生食」
- ・家庭でできる食中毒の予防のポイント
- ・放射能のこと
- ・災害用救助工具を知っていますか

2012

- ・気になる元素を探してみよう
- ・知って防ごう 子ども(乳幼児)の事故・高齢者の事故を防ぐために
- ・正しく洗って～毎日きれいな手～
- ・大地震に備える

2013

- ・消費者の五感に染みこんだ 100 年商品
- ・減らない焼き肉の食中毒・生肉の衛生管理が厳しくなっても
- ・コイン電池 子どもの誤飲に注意
- ・化学が作る私たちの生活 くらしを支える化学の力

2014

- ・食中毒の季節 日常の衛生管理の基本は
- ・「ベビーシッター」の事件から考えて
- ・違法ドラッグ(脱法)危険ドラッグってなに
- ・どこが違うかー滅菌 殺菌 除菌 抗菌など

2015

- ・ボタン電池を使用した商品に注意～乳幼児の誤飲により、化学やけどのおそれも
- ・市販薬の副作用で重症化することも！
- ・下水道に油を流さないで

2016

- ・ごま
- ・じゃがいも/お弁当作りの衛生ポイント～食中毒に注意～感染症に注意～
- ・乳幼児のヒヤリハット 誤飲について
- ・新元素「ニホニウム」 記号は Nh
- ・食品安全委員会からの情報～いわゆる「健康食品」に対するメッセージ～

2017

- ・洗濯表示マークを覚えて洗濯上手に！新 JAS 一覧
- ・もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう
- ・食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント
- ・このマーク、一体なに？ピクトグラム

2108

- ・ご存じですか？新しい案内用図記号(ピクトグラム)
- ・ジャガイモによる食中毒を予防するためにできること
- ・消費者問題に関する2017年の10大項目
- ・Safe Kidsー子どもを事故から守るためにー

2019

- ・熱中症予防の基本は 日陰・風・三度の食事
- ・風疹の抗体はありますか？
- ・新たなJAS制度と新JASマーク
- ・消費者問題に関する2018年の10大項目
- ・「味噌」を知る

2020

休止

2021

- ・成年年齢引き下げに伴う若者の消費者被害について

2122

- ・「18歳成年年齢の引下げ」について知っておきたいこと
- ・いわゆる「健康食品」について
- ・知って防ごう 子どもの事故

2023

- ・昔の病気ではありません。はしかと梅毒
- ・子どもの事故